

Ⅱ 研修の概要

1 研修のねらい

見通しを持って進んで問題解決をしようとしたり、多様な考えに触れ、自分の学びを広げ、深めようしたりする児童を育てるために、学校図書館を活用した授業を実践することによって、本主題の達成に迫っていくであろう。

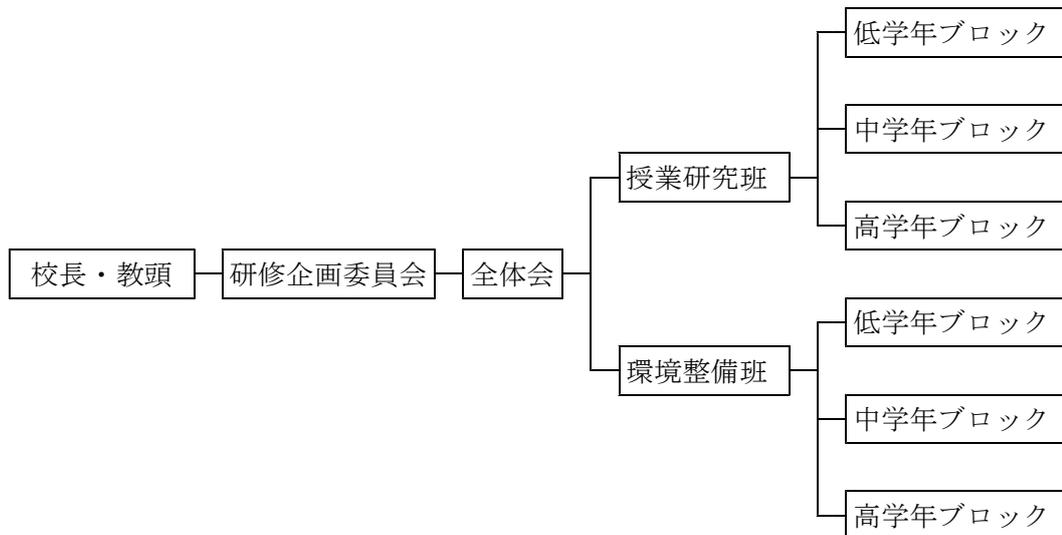
2 研修の内容

- 国語科を中心に各教科で学校図書館を活用した授業改善をする。
- 学校図書館の活用を計画的に行うために、学校図書館教育全体計画などを作成する。
- 児童が居心地がよく、活用しやすい学校図書館の整備作業をする。

3 研修の方法

- 原則として、定期的に月1回を研修日とする。
- 学校図書館の在り方やはばプラⅡを活用した主題に関わる基本研修を行う。
- 学校図書館を活用した授業を一人一実践する。
- 公立図書館や学校図書館職員との連携を図る。
- その他に当たる事柄として、ICTやアレルギー対応などの実務研修

4 研修の組織



- 研修企画委員会…研修の企画、運営を行う。
(校長、教頭、教務、研修主任、各学年ブロック代表者)
- 全体会…研修主題に対し実践の具体化を図る手立てを設定し、相互理解を図る。
(全職員)
- 授業研究班…各教科における学校図書館を利用した授業研究や実践、学校図書館活用計画を作成する。
- 環境整備班…学校図書館の整備、児童が図書に興味を持つための手立ての立案を行う

5 研修の計画

令和2年度

回	月日	研修内容
1	4/18	研修主題と内容、研修の方向性、学校図書館充実事業について 「はばたく！群馬の子どもたち」の動画視聴(学校図書館充実事業)
2	6/3	研修組織の決定、職員アンケートの実施、今後の研修内容について検討(部会) 「はばたく！群馬の子どもたち」の動画視聴(はばプラⅡ)」
3	6/29	学校訪問の報告 学校図書館全体計画の作成、年間指導計画のお願い 図書館の教育目標や低・中・高学年の重点の検討など
4	7/21	県教委および県立図書館より、学校図書館充実事業についての概要説明
5	8/3	夏季研修(エヒペン・パソコン研修)、図書館環境づくり(職員作業)
6	9/8	研修企画委員によるビブリオバトルの紹介、第2回学校訪問について、部会の実施、研修や学校生活全般について困り感をアンケート調査
10/15 県・東部・市教委、県立図書館関係者と学校図書館を利用した授業づくりについて素案をもとに検討する。また、日々の学校図書館を利用した授業実践について意見交換。		
7	11/2	代表授業指導案検討会
11/19 県立図書館で開催された第1回学校図書館研修会に参加(数名)		
8	11/30	第2回学校訪問
9	12/14	これまでの研修を振り返って
10	1/7	今年度の研修の成果と課題
11	1/25	職員作業(第1図書室の整備)
2/9 県・東部・市教委関係者と学校図書館充実事業中間報告会		
2/26 本校にて群馬県立図書館の出前授業(百科事典の使い方)		
3/3 県立図書館から「朝の読書推進図書セット」を借用する		

令和3年度

回	月日	研修内容
1	4/19	研修主題と内容、研修の方向性、研修組織の決定、職員アンケートの実施 学校図書館充実事業について
	5/21	(学校図書館充実事業についてのオンライン会議)
2	5/24	今後の研修内容について検討(部会)、学校訪問に向けて 群馬の教職員スタートアップ動画(授業づくりの基礎・基本)の視聴
3	5/25	ICTスキル研修
4	6/28	学校図書館を活用した授業実践 授業研究会
5	7/26,27	夏季研修(保健・ICTスキル・QU)、図書館環境づくり(職員作業)
6	9/21	代表授業の素案づくり、部会での進捗状況 学校図書館充実事業の発表内容についての確認
7	10/18	代表授業検討会 学校図書館充実事業の部会ごとの成果と課題を確認
8	11/9	学校図書館充実事業プレ発表会
9	11/25	学校図書館充実事業本発表会(第2回学校訪問)

10	1/31	今年度の研修の成果と課題・来年の研修の方向性のアンケート
11	2/21	来年の研修の方向性決定 教職員のスキル研修

5 実践

令和2年度

(1) 5月 学校図書館充実事業にかかわる職員アンケート実施

○学校図書館を利用した授業を実践したことがあるか 職員の半数程度

○学校図書館を利用した授業を行うために、どの単元でどのような授業ができそうか

- ・国語科を中心に「並行読書」、「図鑑を利用して生き物クイズ」、「お気に入りの本の紹介」、「ビブリオバトル」、「図書館の活用のしかた」など
- ・生活科、社会科、理科、総合では「調べ学習」

○本校の学校図書館を児童がもっと利用するにはどうしたらよいか

- ・居心地のよい図書館(環境整備)
- ・目あての本が探しやすい図書館
- ・おすすめの本コーナーの設置
- ・読書記録カードの利用 など

○学校図書館充実事業を通して、本校の児童がどのような姿になってほしいか

- ・読書が好きな児童
- ・問題解決の手立てとして本を活用する児童
- ・進んで読書活動に取り組み、感性を磨き、自分の思いを自分の言葉で表現できる児童
- ・幅広いジャンルの本のおもしろさを知る児童
- ・インターネットで知ることだけでなく、本からもたくさん学ぶことができる児童 など

(2) ①6月 図書室の使い方について研修

○図書担当職員から図書室の使い方や本の貸し出しの仕方について学んだ。



②6月 図書室の使い方

○図書館補助員から児童に図書室の使い方や本の配置などについてオリエンテーションを行った。

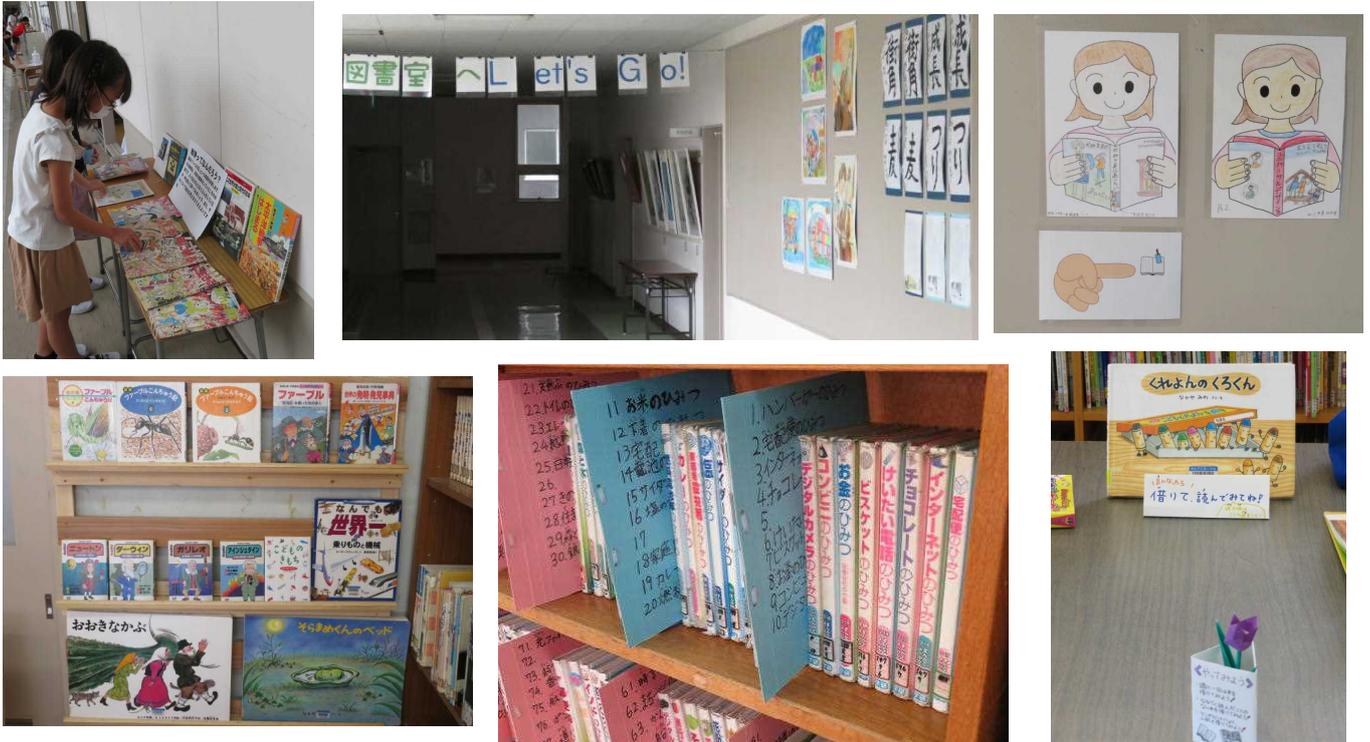


③ 6月 教室に図書コーナーの設置、学校図書館活用方法カードの作成 (授業研究班)

○教室や教室前廊下に授業内容としたリンクした図書コーナーの設置した。児童が気軽に手にとれる範囲に本を置くことで、本がより身近なものとなるようにした。

○学校図書館を活用した取組を記録し、次年度以降の授業の単元構想の一助となるようにした。

④ 6月以降随時 図書室の整備や各教室から図書室に行く動線の工夫 (環境整備班)



(3) 8月 図書館環境作り(第2図書室の設置)

○職員の資料や古い蔵書が置かれていた教室を職員作業で第2図書室を設置するための準備を行った。

(4) 9月 職員によるビブリオバトルの実施

○お気に入りの本を紹介する一つの手立てとして、職員によるビブリオバトルを体験した。

(5) 11月 学校訪問

○学校訪問では、全職員による学校図書館を活用した授業を実施した。また、代表授業では、はばプラⅡの構成をもとに、ミニビブリオバトルを解決の手立てにして、学級活動、題材名「読書と私たちの生活」を実践し、グループ別討議を行った。

①研究授業

教諭名	学年	教科	教材名(題材名)
木村 大地	6年	特別活動	「読書と私たちの生活」

②一般授業

教諭名	学年	教科	教材名(題材名)
須田 澄江	1年	国語	「むかしばなしをよもう」
大湊 和徳	4年	国語	「感動を言葉に」
下山 秀人	5年	算数	「図形の面積」

大澤 愛莉	5年	国語	「やなせたかしーアンパンマンの勇気ー」
土谷 小枝子	1年	国語	「むかしばなしをよもう」
木島 修	3年	国語	「たから島のぼうけん」
亀井 睦	4年	音楽	「音楽で思いを伝えよう」ーごんぎつねを通してー
大河内 淳一	6年	社会	「明治の国づくりを進めた人々」
森 弥生	2年	生活科	「みんなでつかう まちのしせつー1年生のためにミニ図書館を開こうー」
清水 貴彦	4年	国語	「感動を言葉に」
猿山 和美	4年	外国語	「U9 絵本 ぼく・わたしの一日 This is my day.」
藤田 しのぶ	ひかり学級	国語	「よく聞いて、おもいうかべよう」



(6) 1月 職員作業 第1図書室の整備

○第1図書室の本棚が本で飽和状態のため本棚の空きスペースを作る。また、美和文庫を本の分類に分け、整理した。

美和文庫とは、本校の児童だった「安 美和さん」が1997年、4年生の時に突然の病に倒れ、帰らぬ人となりました。美和さんは生前、本と学校が大好きで、安ご夫妻が、美和さんの遺志を、汲んで、本校の図書室に本や本棚を寄贈してくださっています。その蔵書が「美和文庫」で、現在2510冊となりました。(令和3年現在)

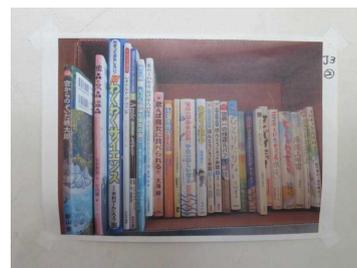
(7) 2月 職員研修 群馬県立図書館の出前授業の実施

○学校図書館を利用した授業改善を行うために県立図書館の方を講師に、「百科事典の使い方実習」と「県立図書館の学校支援」について研修した。



(8) ①3月 朝の健康推進読書セット

○朝読書や休み時間に手軽に本に触れる機会を増やしていくために、学年ごとに教室や教室前廊下に県立図書館から貸し出された「朝の読書推進図書セット」コーナーを設置した。借りた本を元の場所に戻しやすいように、写真を掲示した。



(9) ②3月 図書にかかわる児童アンケートの実施

○「図書にかかわること」や「図書室の利用状況」などについて学年ごとに質問紙調査を実施。
(ただし、低学年については、聞き取り調査実施)

令和3年度

(10) ①4月 学校図書館充実事業にかかわる昨年度までの流れの確認(引き継ぎ)

○大幅な職員異動があり、昨年度までの学校図書館充実事業の概要の伝達、第1、第2図書室の見学をする。学校図書館を活用した授業改善に取り組むための蔵書の確認を行った。

②4月 1年生への読み聞かせ

○新学期が始まり、新しい生活が始まった1年生への登校後の準備を6年生がお手伝いをした。朝行事が始まる前に6年生が絵本の読み聞かせや紙芝居を行った。



(11) ①5月 部会(引き継ぎ)

○授業研究班では、学校図書館活用方法カードを再検討し、単元のどの場面でどんな手立てをするかを盛り込んだ。また、学校図書館年間活用教科・単元一覧表を昨年度作成したものをさらに絞り込んで作成していくことを確認した。

○環境整備班では、第1、第2図書室の環境整備、図書委員会の取組の工夫、図書館だよりの作成、図書への興味関心を高めるための工夫などについて話し合いを行った。

②5月 ICT研修(随時)

○児童1人1人タブレット端末が配付された。情報活用能力を育成するためにタブレット端末は必要不可欠なものである。また、学校図書館を活用した授業づくりにICTと融合させていく方法を研修していく必要がある。



(12) 6月 学校訪問

○学校訪問では、全職員による学校図書館を活用した授業を実施した。昨年度までの学校図書館を活用した授業に加えて、タブレット端末機能を利用して、図書情報を共有したり、調べ学習において、図書の情報とインターネットで調べた情報を比較検討したりするなど情報活用の工夫が見られた。

(13) 7、8月 図書館環境作り

○第2図書室、第1図書室前の廊下の環境整備を行った。第2図書室のレイアウトや壁面の利用方法など話し合った。

(14) 地域のボランティアによる読み聞かせ

毎週水曜日の朝行事の時間に地域の方が読み聞かせを行っている。児童の実態や季節に合わせ、だれでも楽しめる本を紹介していただいている。本の中で紹介されていた料理レシピを家庭で実際に作って食べた児童もいた。

